

地域で見守る子育で!子育ち!

乳幼児におこりやすい事故について

乳幼児の死亡原因で最も多いのは「不慮の事故」です。事故を未然に防ぐには、子どもにおこりやすい事故とその要因、対策を知ることが大切です。

月齢と特徴		主な事故	対策
新生児	周囲の不注意による事故が多い時期	【転落】 上から誤ってものを落とす、抱っこやクーハン使用中に誤って落とす。	足元や、赤ちゃんの周囲にものを置かない。
		【窒息】 うつ伏せ寝や掛け物、布団や枕で鼻や口が覆われる。	硬めの布団を使用し、掛け物で顔を覆わない。
1 ～ 6 か月	寝返りをするようになり、行動範囲が広がって事故が増える時期	【転落】 新生児欄の【転落】に加え、寝返りなどによるソファやベッドからの転落	ベッド柵を使用する。1人でソファなどに寝かさない。
		【やけど】 誤って上から熱いものを落としたり熱いシャワーをかける。	周囲にものを置かない。シャワーは温度を確認する。
7 ～ 12 か月	ハイハイや歩き始めることでさらに行動が広がり、ものをなめたり口の中に入れて確かめようとするので事故が増える時期	【誤飲・窒息】 たばこ・医薬品・化粧品・洗剤、コイン、食べ物(お菓子や豆など)の誤飲やそれによる窒息	危険なものは高さ1m以上のところに置く。食事のときは注意する。
		【やけど】 炊飯器の蒸気・アイロン・ストーブなどを触る。ポットなどをひっくり返して湯をかぶる。	熱源は手の届くところを避け、飲み物などは机の端に置かない。ストーブは安全柵を使用する。
		【転落・転倒など】 階段などの段差での転落のほか、扉で指をはさむなど	階段など段差に安全柵などを使用する。
		【溺れる】 浴槽や洗濯機への転落 ※水深10cmでも危険	浴室などに入れないようにし、水も溜めたままにしない。
1 ～ 4 歳	さらに活発に動くようになり、引き続き予防策が必要な時期	【誤飲・窒息・溺れる】 7～12か月欄参照	7～12か月欄参照
		【やけど】 7～12か月欄の【やけど】に加え、火遊びによるもの	ライターやマッチの置き場は手の届くところを避ける。
		【転落など】 7～12か月欄の【転落】に加え、ベランダなどからの転落	ベランダなどに踏み台になるものを置かない。
		【交通事故】 道路への飛び出し、自転車の事故	手をつないで歩く。自転車はヘルメットを着用する。

子どもの安全を守るため、日ごろから気をつけましょう!

問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871



地域で見守る子育で!子育ち! ピックアップ

「あかちゃんプチさろん」「ママプチさろん」にどうぞ!

(担当: 保健福祉グループ保健師)

あかちゃんとママの「元気」を応援するために毎月開催しています。「あかちゃんプチさろん」では、1歳未満の赤ちゃんの育ちについての相談をはじめ、親子遊びで楽しいスキンシップタイムを過ごしています。また、妊娠中の方が対象の「ママプチさろん」では健康面のアドバイスに加え、赤ちゃんを待つ日々にはぴったりの、手芸などの企画を用意しています。「話ができて安心した。」「ここでママ友ができた。」という声もいただいています。ぜひみなさんの参加をお待ちしています。(10月の実施日はp.23参照)

